

110 中村家の居間

実地検証が検事立会いの下に行われている。

中島、阿部両警部の顔もある。

鑑識課員の写真フラッシュ。

村上「佐藤さん……また、僕のコルとじゃないんでしょうか？」

佐藤「(ひどく機嫌が悪い)君のコルトだったらどうしたって言うんだネ」

111 同 奥の間

投げ出した旅行カバンの傍らに、茫然と坐っている

中村——。

急に、電気にでも打たれたように立ち上がると、パツと庭へ飛び降りる。

112 同 庭

中村、いきなり家庭菜園の見事なトマトを片っ端から引き抜きはじめる。

113 同 室内

ギョツとして、その様子を見つめている一同。

村上、中村に、

「どうしたんです？」

114 同 庭

中村「……家内が……家内が、このトマトを作ったんです……」

僕が出張した日、青いのばかりだったんです……それが……帰ってみると、トマトはこんなに赤くなってる。だのに家内は生きていない！ 刑事さん、こりゃどうした事です！ たった五万円の金を取るために……」

村上「……」

中村「朝晩、これが眺めていられると思いますか！」

と、引きちぎったトマトを叩きつけると、頭を

抱えて座り込む。

庭石に当たって砕けたトマトが、赤黒い肌をさらけ出している。

村上、そのトマトを見つめたまま動かない。